

## むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長 宮下 宗一郎 殿

隊員氏名 大崎 祐暢

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2023年2月分】

### 1. 実施した活動の概要・状況

「スノー×ライトフェス 2023 in 川内」を開催し、たくさんの成長の種を見つけることができた。また、一人の力の限界や無力さを知り、周りの人の協力の偉大さも知ることができた。このイベントを作り上げるためのイベントを開催したことで、イベント全体の目的達成にさらに厚みを加えることができた。とはいえまだまだ反省点が多いイベントとなったため、振り返りを綿密に行い、客観的な意見も取り入れ、次につなげていきたい。

（主な活動）

◇2月11日（土）・12日（日） イグルーづくり体験

「スノー×ライトフェス 2023 in 川内」の準備として設営する「イグルー」を地域の方々と作るイベントを開催した。「スノー×ライトフェス 2023 in 川内」を開催する目的の一つが「地域交流の場を作る」ことであるため、地域の方々と一緒に作り上げるイベントにすることで目的達成に貢献する狙いがあった。

実際に参加された方から「休憩時間中に普段話したことがない人と話せて、来てよかった」という声をいただけたことから「地域交流の場」を冬の時期に設けられたことは、開催して良かったなど感じた。この時代だからこそ、失われつつある「地域交流」を推奨していくイベントを開催し、地域活性化に貢献したい。



◇2月16日（木）・17日（金） イベント準備

18日の本番の前日ということで地域の方々にお手伝いいただき、イベント準備を行った。雪灯籠の作成とテントの設営、当日の物品の準備等を行った。屋外のイベントということで天候に左右される場面が多く、どうすれば良いのか悩んだ。保育園児もお手伝いに参加してくれた。

今回のイベントは初の自分が主担当の大きなイベントであり、すべてにおいて「人を動かす」ことの責任とやりがいを感じた。次はもっと効率よく、安心されるような主担等となるべく振り返りをしっかり行っていきたい。



## ◇2月18日(土) 「スノー×ライトフェス 2023 in 川内」

冬の川内町の「雪が多い」というマイナスなイメージをプラスに変えるため、子どもたちの遊び場を増やすため、地域の方々の冬の交流の場を設けるために、雪の多い川内町だからこそできるイベントを企画し、「スノー×ライトフェス 2023 in 川内」を開催した。目標参加者見込み数を 300 人と設定し、ライトアップフェスでの印象が強い「Reborn かわうち」を共催者として開催をした。

準備の段階から、イベント主担当の実績のない自分が今回の企画を立案し、主担当として、準備を行った。準備期間は「なぜこんなことを提案してしまったんだろう」と考えることや投げ出したくなるようなことが毎日のように起き、休みも仕事も大差ないような数週間を過ごした。自分の中の軸がブレ、周りの考えを聞きすぎてさらにブレ、そのブレを指摘され、へこんでる暇がないと奮起するも同じグループから抜け出せず、イライラが募ったり周りにあたることもあった。達成感の欠片すら考える余裕もなかったが、理事長のイベントに対するワクワクした様子や、館長や仲間のフォローもあり、実施することができた。

今回のイベントでは総来場者数が 1200 人以上となり、当日も子供たちの列で滑り台がノンストップで回転し、飲食ブースでは売り切れが続出し、追加販売を行うなど、予想外の大盛況であった。天候も終日晴れて寒くもなく、大きな事故やケガもなく、無事に終了した。

イベント終了後に振り返りをしてみると、イベント自体は大成功であったが、自分の役割としてはあまり良い評価を自分につけることはできなかった。今回のミスや改善点をすべてピックアップし、問題とその時の対応と改善案をまとめ、次のイベントに活かしていきたいと考える。



## 2. 翌月の活動予定

3月は4月以降に向けての準備期間となり、イベント終了後ではあるが忙しさは落ち着かないと予測できる。一つ一つ順を追って処理し、4月以降にあたふたしないよう努めていきたい。

3月 4日 若手交流会 in 大間

3月 8日 「ゼロから始めるネットショップ」研修会参加

3月13日 長野グリーンウッド研修旅行(～15日)